

令和2年4月1日現在 人口 2,702人 男 1,330人 女 1,372人 世帯数 1,060戸

明けましておめでとうございます 令和3年 新春座談会

(司会) 本日は、令和3年の新春を迎えて「村檜町のこれから」をテーマに5名の方に座談会をお願いします。

自治会では、住みよい環境づくり、健康で明るいまちづくりを目的に活動していますが、外から移ってきた方もおられるので、最初に村檜町のいいところ、課題などをお願いします。では、在住70年の会長さんからお願いします。

(新村) 子どもの頃からの先輩、後輩でみんな知っている、そうしたつながりがあって、豊かさを感じています。コミュニティの中でのつながりの大切さを感じています。

(二宮) ひよこクラブ、幼稚園や小学校のPTAの皆さんで、少子化対策会合をしています。村檜というところは、住んでよし、気候よし、人柄良しの町ですね。時間がゆったりと流れ、おおらかな感じがします。テレビや映画の撮影に使われ、「サンドのお風呂」「ブラタモリ」「バナナマンのせっかくグルメ」などで取り上げられるし、仲介している浜松フィルムコミッションの方もいいところだと認識されているからだと思います。

高齢化などの課題があげられますが、村檜だけが特異ではなく、日本全体の問題で、そうした状況を見れば、村檜には会社がある、農業、漁業もある、まだまだ「くいどめている」地域だと思います。

空き家のこともあげられていますが、建てたいときに適地を案内できれば、流れができていくと思います。私の知っているだけでも、ご夫婦共に町外出身の人が3組住んでいます。

(藪下) 村檜の魅力を語り出したら、キリがないですね。(笑)

あえて課題と言えば、村檜の中で生活が完結できるお店の

数と、交通の便だと思います。車があれば不自由なく移動できますが、無いと苦労する。もしバス等で舞阪や館山寺とスムーズに繋がれば、選択の幅も広がり、住民の買い物や通院、そして学生の通学も助かるはずですよ。

(新村) 高齢者を動かす手段としてデマンド型バスの試行が今年の10月からスタートします。

(司会) これまで陸の孤島と言われてました。

(松田) 年配の人と話をすると、昔は陸の孤島でも困らなかったと言います。昔は劇場、料理屋さん、お風呂も3つあって、織屋さんで潤っていた。女工さんもいて、外へ行かなくても十分楽しかった。今は、お店や食事をすると、集まる場所も少なくなった。ガソリンスタンドも憩いの場だったけれど、それもなくなった。

ですから、気が向いたら集まれるような場所があるといいと思います。みんなが集まり、持ってきたものを食べる場所があるといいですね。

(徳増) 村檜には、同年の付き合いがあって、運動会や食事会などを一緒にしています。ですから知り合いがいなくても同年で声をかけあう居場所がありました。

皆さんの話を聞くと、高齢者もたいへんでしょうけど、子育て世代もたいへんだと思いました。ですから交通手段を子育て世代まで広げていくと良いのではと思います。また、村檜会館をコミュニティの場としてもっと活用すれば、いろいろな年齢の人たちの交流の場になると感じました。(2面へ)

出席者のみなさん



二宮 寿さん
大阪府出身。村檜に在住18年。ローランド勤務。結婚を機に村檜町に居住。



藪下 靖弘さん
和歌山県出身。東京で就職後村檜に在住10年。OMソーラー(村檜町)勤務。



新村 卓自治会長
村檜に在住70年。



徳増 陽子 女性部会長
豊橋市出身。結婚後村檜に在住。小学校教員。



松田 留美子さん
ホテル九重勤務後、結婚して村檜に在住。さまざまな活動に活躍中。



(司会) 遠山 通夫
自治会副会長

(司会)交通の話やお店の話が出ていますが、どうしたらもっと住みよい町になるかという提案がありましたら、お願いします。自治会の活動についても結構です。

(松田)いま館山寺町の「門前通り活性化部会」に参加させていただいています。その活動の一つですが、館山寺町の自治会や愛宕神社の氏子さんが中心となって、7月から月1回手作りマーケットを始めました。

野菜やハンドメイド商品などを出店しています。最初は軽トラが2、3台だったのですが、どんどん増えてきていて、にぎやかになっています。

(新村)自治会だけでなく、若い人たちが活躍できる機会を増やしていく必要がありますね。

(司会)自治会と一緒にやっていくような提案をいただくことも必要かもしれません。

(二宮)今はイベントなどでも自治会が声をかけて、団体が参加しているようなケースが多いですね。

(司会)納涼祭なども今は内容を決めた上で各団体にお願いしていますが、どうでしょうか。

(松田)確かに全部決まっていますから、参加する団体もやらされてる感があるかもしれません。この場所を提供するので、何かやると頼んでみたらどうでしょうか。企画しながら、徐々に気持ちも入っていくと思います。

(藪下)いま新型コロナの影響で、密を避けて休暇を楽しむようになり、ガーデンパークに多くの人が訪れています。

この村櫛を知ってもらいたい機会なので、なにか誘導できる仕掛けができれば、村櫛町自体が活性化するのではないのでしょうか。

(二宮)旧浜松市内の自治会でホームページ(HP)を持っているのは、少ないらしいです。

(新村)HPの活用をもっとしていきたいと思います。

(徳増)町内結成の音楽バンド「とんちんかん」さんたちが作った村櫛の歌(注※)がありました。あれは良かったですね。

(藪下)毎年うんどうクラブのクリスマス会では、「とんちんかん」の皆さんをお呼びし、子供達に向けて歌ってもらっています!

(松田)よそから来た人が村櫛のいいところを歌った曲なので、残してもらいたいですね。

(新村)将来を考えると、これからも積極的に子どもたちに関わっていきたい。子どもたちが地域のことを知る、そして地域を良くすれば故郷に住む、そうしたことが財産として将来に繋がっていくと思っています。

(藪下)とにかく大人が楽しんでいるところを子供達に見せることが大事ですね。

それが将来子供達が大きくなってこの町で暮らしたいと思ってもらえることに繋がると思います。

(司会)村櫛の将来について、いろいろなご意見をいただきました。これからもご意見をいただけるような体制づくりが必要かとも感じました。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。



(注※)「我が町ふるさと」は、you tube で聴くことができます。
まんざい坂に サクラが咲くころ われらが町に 春がやってくる
君と歩いた あの自転車道 かわいく白い 花が咲いていた
息を切らして 追いかけたあの日 汽船場辺りで 海をながめてた
水面に映る 雲と青い空 静かにたたずむ 我が町ふるさと



ひまわりファーム

488-0770

中村 欽一 さん



「食べて美味しい物を競って出すのが信条」と納入の農家さん。地元のみならず、古人見、大人見からもひっきりなしに運んできます。

お店を始めて18年。「最初は、自分で作った物も出しましたが、その内に農家さんから頼まれて、今では納入する方が約200人になってます。これからも農家さんの力になればと続けていきます」と力強い笑顔の中村さん。そしてお客さんもお値打ちな野菜、果物、そして花が口コミで広がり、遠くは豊橋、磐田からも「農家直売とれたて新鮮」の看板を目じるしに訪れています。



ユーガ文庫 案内 柚月裕子著「盤上の向日葵」 中央公論新社(2017)



「本当にお前が殺人犯なのか?」久しぶりに味わった小説の醍醐味。重厚な文体の中に展開されるのは、異端の天才棋士の壮絶な人間ドラマである。

山中で発見された白骨死体、遺品である初代菊水月作の名駒を頼りに、叩き上げの刑事とかつてプロ棋士を志していた新米刑事が捜査を開始する。二人の刑事が向かう先は、将棋界のみならず、日本中から注目を浴びる竜昇戦の会場、世紀の対局の先に待っていた壮絶な結末とは。

テレビでも放映されたストーリーと時代性は、松本清張の「砂の器」を彷彿とさせる。将棋を知らなくても楽しめる一冊だ。

自治会の活動予定



自治会事務所・村櫛会館
053-489-2002

1月	6 部長会 8 回覧物配布 15 役員会 16 秋葉神社参拝・灯籠清掃 17 ポンプ点検 22 回覧物配布	2月	3 広報委員会 8 部長会/回覧物配布 11 新女性部研修会 19 役員会 21 ポンプ点検 22 新評議員候補者研修会・回覧物配布
----	--	----	---